

1. 科目名 (単位数)	福祉心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開) (2単位)	3. 科目番号	PSMP5218
2. 授業担当教員	柴原 直樹		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		
7. 講義概要	日本は、世界に先駆けて少子高齢社会に突入し福祉先進国となった。その中で、障害者に対する心理的な問題やその理解、支援が急務となった。そこで、子どもから大人、さらには高齢者に至るまで、様々な障害を抱えている人の心身の問題を明らかにし、彼らに対して、また彼らの家族に対してどのような支援が必要なのかを心理学的見地から学んでいく。		
8. 学習目標	障害についての基本的な理解、および障害者に対する支援方法を身につける。次いで、脳・神経系の機能と、その障害について十分な知識を習得する。さらに、各種障害の特性とその心理についてプレゼンテーションを行うことで、障害者・高齢者と、彼らを取り巻く周囲の人々の心理を考え、その支援について、臨床心理学の立場から理解を深める。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	学習の展開及び内容における各テーマを参照。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】特に指定しない。 【参考書】中村義行・大石史博(編)『障害臨床学ハンドブック』第2版 ナカニシヤ出版、2013。 松田修(編)『最新老年心理学－老年精神医学に求められる心理学とは』ワールドプランニング、2018。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 障害に関する基本的な知識を習得し、障害に苦しむ人に対する心理学的支援の方法を理解できているか。脳・神経系のはたらきを理解し、どの領域の損傷あるいは機能障害がどのような行動の障害となって現れるかについて十分な知識を身につけたか。 ○評定の方法 プレゼンテーション 40% レポート 40% 授業への参加意欲・態度 20%		
12. 受講生へのメッセージ	受講生は、問題意識をもって積極的に講義に参加してください。各自、好きなテーマを選択しプレゼンテーションを行ってまいります。他の受講生とのディスカッションを通して表現力、批判力を高めてください。		
13. オフィスアワー	必要に応じて個別に対応。		
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】		
1. テーマ	福祉心理学とは		
	【学習の目標】 福祉心理学の概念について理解する。 【学習の内容】 福祉心理学の原理と歩みについて学ぶ。 【キーワード】 福祉ニーズ、ケア、福祉マインド 【学習の課題】 福祉心理学の概念、目標、役割について理解する。 【参考文献】 中島健一(編)『第17巻 福祉心理学』遠見書房 【学習する上での留意点】 welfare と well-being の違いについて留意する。		
2. テーマ	福祉心理学的支援の基盤 1		
	【学習の目標】 施設における自立支援について理解する。 【学習の内容】 施設における自立支援の実態について学ぶ。 【キーワード】 自立、発達理論、アタッチメント 【学習の課題】 自立支援と発達理論およびアタッチメントについて理解する。 【参考文献】 中島健一(編)『第17巻 福祉心理学』遠見書房 【学習する上での留意点】 発達理論とアタッチメントについて確認する。		
3. テーマ	福祉心理学的支援の基盤 2		
	【学習の目標】 心理療法および心理検査の概要について理解する。 【学習の内容】 心理療法の各論および心理検査の種類について学ぶ。 【キーワード】 心理療法、アセスメント 【学習の課題】 心理療法および心理検査について調べる。 【参考文献】 中島健一(編)『第17巻 福祉心理学』遠見書房 【学習する上での留意点】 各心理検査の目的および使用方法について調べる。		
4. テーマ	高次脳機能障害 I		
	【学習の目標】 プレゼンテーションおよびディスカッションを通して失語・失認・失行について理解を深める。 【学習の内容】 失語・失認・失行のアセスメントと支援について学ぶ。 【キーワード】 失語、失認、失行 【学習の課題】 失語・失認・失行の症状について調べる。 【学習する上での留意点】 画像診断により責任病巣を理解する。		

5 . テ ー マ	高次脳機能障害Ⅱ
【学習の目標】	プレゼンテーションおよびディスカッションを通して記憶障害・注意障害・感情障害について理解を深める。
【学習の内容】	記憶障害・注意障害・感情障害のアセスメントと支援について学ぶ。
【キーワード】	記憶障害、注意障害、感情障害
【学習の課題】	記憶障害・注意障害・感情障害の症状について調べる。
【学習する上での留意点】	画像診断により責任病巣を理解する。
6 . テ ー マ	自閉スペクトラム症
【学習の目標】	プレゼンテーションおよびディスカッションを通して自閉症について理解を深める。
【学習の内容】	自閉スペクトラム症の定義、原因および心理的特徴と支援について学ぶ。
【キーワード】	自閉スペクトラム症、TEACCH
【学習の課題】	自閉スペクトラム症患者の心理学的支援に関する実践報告を調べる。
【参考文献】	DSM-5TR
【学習する上での留意点】	他の障害との合併にも注目する。
7 . テ ー マ	注意欠陥多動症と局限性学習症
【学習の目標】	プレゼンテーションおよびディスカッションを通して注意欠陥多動症と局限性学習症について理解を深める。
【学習の内容】	注意欠陥多動症と局限性学習症の症状、診断および治療的アプローチについて学ぶ。
【キーワード】	注意欠陥/多動症、局限性学習症
【学習の課題】	注意欠陥多動症と局限性学習症の臨床事例報告について調べる。
【参考文献】	DSM-5TR
【学習する上での留意点】	治療に有効な薬物についても調べる。
8 . テ ー マ	統合失調スペクトラム症
【学習の目標】	プレゼンテーションおよびディスカッションを通して統合失調スペクトラム症について理解を深める。
【学習の内容】	統合失調スペクトラム症の症状、診断および治療的アプローチについて学ぶ。
【キーワード】	統合失調スペクトラム症、ドーパミン仮説
【学習の課題】	統合失調スペクトラム症の経過と予後および支援について調べる。
【参考文献】	DSM-5TR
【学習する上での留意点】	薬物および心理療法について調べる。
9 . テ ー マ	抑うつ症・双極症
【学習の目標】	プレゼンテーションおよびディスカッションを通して抑うつ症・双極症について理解を深める。
【学習の内容】	抑うつ症・双極症の症状、診断および治療的アプローチについて学ぶ。
【キーワード】	うつ病エピソード、躁病エピソード、モノアミン仮説
【学習の課題】	抑うつ症・双極症の支援について調べる。
【参考文献】	DSM-5TR
【学習する上での留意点】	薬物および心理療法について調べる。
10 . テ ー マ	不安症・強迫症・PTSD
【学習の目標】	プレゼンテーションおよびディスカッションを通して不安症・強迫症・PTSDについて理解を深める。
【学習の内容】	不安症・強迫症・PTSDの症状、診断および治療的アプローチについて学ぶ。
【キーワード】	不安、強迫観念、ストレス、サイコロジカル・ファーストエイド
【学習の課題】	不安症・強迫症・PTSDの支援について調べる。
【参考文献】	DSM-5TR
【学習する上での留意点】	有効な心理療法について調べる。
11 . テ ー マ	解離症・パーソナリティ症
【学習の目標】	プレゼンテーションおよびディスカッションを通して解離症・パーソナリティ症について理解を深める。
【学習の内容】	解離症・パーソナリティ症の症状、診断および治療的アプローチについて学ぶ。
【キーワード】	ストレッサー、パーソナリティ症におけるA群、B群、C群
【学習の課題】	解離症およびパーソナリティ症の分類について調べる。
【参考文献】	DSM-5TR
【学習する上での留意点】	有効な心理療法について調べる。
12 . テ ー マ	アルツハイマー認知症
【学習の目標】	プレゼンテーションおよびディスカッションを通してアルツハイマー認知症について理解を深める。
【学習の内容】	アルツハイマー認知症の症状、診断および治療的アプローチについて学ぶ。
【キーワード】	AD、スクリーニング検査
【学習の課題】	アルツハイマー認知症のアセスメントと支援について調べる。
【学習する上での留意点】	画像診断により病巣部位を確認する。
13 . テ ー マ	レビー小体認知症
【学習の目標】	プレゼンテーションおよびディスカッションを通してレビー小体型認知症について理解を深める。
【学習の内容】	レビー小体認知症の症状、診断および治療的アプローチについて学ぶ。
【キーワード】	DLB、幻視、パーキンソニズム
【学習の課題】	レビー小体認知症のアセスメントと支援について調べる。
【学習する上での留意点】	画像診断により病巣部位を確認する。

14. テーマ	前頭側頭型認知症
【学習の目標】	プレゼンテーションおよびディスカッションを通して前頭側頭型認知症について理科を深める。
【学習の内容】	前頭側頭型認知症の症状、診断および治療的アプローチについて学ぶ。
【キーワード】	FTLD、常道行動、被影響性
【学習の課題】	前頭側頭型認知症のアセスメントと支援について調べる。
【学習する上での留意点】	画像診断により病巣部位を確認する。
15. テーマ	脳血管性認知症
【学習の目標】	プレゼンテーションおよびディスカッションを通して脳血管性認知症について理解を深める。
【学習の内容】	脳血管性認知症の症状、診断および治療的アプローチについて学ぶ。
【キーワード】	VD、認知機能障害
【学習の課題】	脳血管性認知症のアセスメントと支援について調べる。
【学習する上での留意点】	画像診断により病巣部位を確認する。